

早期修了プログラム達成度自己点検シート【履修生説明用】

提出日: 令和 年 月 日
 学生氏名: 筑波 太郎
 所属: ○○研究群○○学位プログラム
 指導教員名:
 専門分野:

A 博士の学位にふさわしいレベル
 B 修士の学位レベル
 C 学士の学位レベル

| | コンピテンス | | 評価の観点 | 自己評価レベル | | | | 自己評価の根拠(以下:記入要領) | 各学位プログラムでの 特記事項等 |
|---------------------------|--------|---------------------|---|--|-----------|-----------|-----------|------------------|---|
| | 名称 | 説明 | | 入学時 審査時 | 中間 審査時 | 予備 審査時 | 最終 審査時 | | |
| 汎用 コンピ テン ス | 1 | 知の創成 力 | 未来の社会に貢献し得る新た な知を創成する能力 | ① 新たな知の創成といえる研究成果等があるか ② 人類社会の未来に資する知を創成することが期待できるか | A,B,C | | | | (パターン1) 入学前の研究成果等において、評価の観点①に相当すると思われる 業績がある場合は、その理由も含めて主張してください。また、こ れまでの業績・今後の研究計画において、評価の観点②の期待値 について、理由も含めて主張してください。さらに、関係する発表論 文があれば説明に含めてください。 |
| | 2 | マネジ メント能力 | 俯瞰的な視野から課題を発見 し解決のための方策を計画し 実行する能力 | ① 重要な課題に対して長期的な計画を立て、的確に実行することができるか ② 専門分野以外においても課題を発見し、俯瞰的な視野から解決する能力はある か | A,B,C | | | | (パターン2) 評価の観点①②に示す能力を自己分析し、職場での研究実績・業 務経験等により、どの程度能力が身についたか(現時点の修得状 況)をA,B,C評価するとともに、その評価とした理由を説明してくださ い。 |
| | 3 | コミュニ ケーション 能力 | 学術的成果の本質を積極的 かつわかりやすく伝える能力 | ① 異分野の研究者や研究者以外の人に対して、研究内容や専門知識の本質を分 かりやすく論理的に説明することができるか ② 専門分野の研究者等に自分の研究成果を積極的に伝えるときに、質問に的確 に答えることができるか | A,B,C | | | | |
| | 4 | リーダ シップ力 | リーダーシップを発揮して目 的を達成する能力 | ① 魅力的かつ説得力のある目標を設定することができるか ② 目標を実現するための体制を構築し、リーダーとして目的を達成する能力がある か | A,B,C | | | | |
| | 5 | 国際性 | 国際的に活動し国際社会に 貢献する高い意識と意欲 | ① 国際社会への貢献や国際的な活動に対する高い意識と意欲があるか ② 国際的な情報収集や行動に十分な語学力を有するか | A,B,C | | | | |
| 学位 P コンピ テン ス | 1 | 研究力 | 社会工学分野における最新 の専門知識に基づいて先端 的な研究課題を設定し、自立 して研究計画を遂行できる能 力 | ① 社会工学分野の研究課題を適切に設定でき、その研究を行うための高度な技術 はあるか ② 社会工学分野の先端的研究を遂行して独創的な成果を上げることができるか ③ 国際会議等において英語で研究成果を発表し議論することができるか | A,B,C | | | | |
| | 2 | 専門知識 | 社会工学分野における先端 的かつ高度な専門知識と運用 能力 | ① 社会現象理解(Find):社会工学分野における基本的な理論や経験則についての 高度な知識にもとづき、社会現象を演繹的に理解できるか ② データ解析(Analyze)…データの分析に基づき社会現象を帰納的に理解でき るか ③ 制度設計(Plan)…社会現象の理解にもとづき社会を改革する制度を設計でき るか ④ 実験と提言(Do)…設計した制度にもとづき具体的な提言や社会実験を行えるか ⑤ 評価と測定(See)…社会実験や提言の結果を自ら批判的に測定・評価し、社会現 象理解を深化させられるか | A,B,C | | | | |
| | 3 | 倫理観 | 社会工学分野の高度専門職 業人にふさわしい倫理観と倫 理的知識 | ① 研究者倫理および技術者倫理について理解し、遵守しているか ② ヒトを対象とする研究に関する倫理と研究に必要な手続きについて理解している か | A,B,C | | | | |

注1:自己評価レベルについては、「A(博士の学位にふさわしいレベル)」、「B(修士の学位レベル)」、「C(学士の学位レベル)」を基準として自己評価を行う。

注2:自己評価で「A」評価とされた項目について、教員側の評価において同じく「A」評価とされた場合に達成済みとする。

注3:「A」評価を得た項目については、更なる特筆すべき事項等が無い場合はシートの内容を更新する必要は無い。

注4:A4用紙で2枚程度に収まるように記入する。なお、記入セルサイズの変更を可とする。